

# 芦屋市報

発行所 芦屋市精道町93  
芦屋市役所  
発行人 芦屋市長 内海 清  
編集 秘書室広報課  
印刷 オール出版印刷K K  
毎月1回5日発行定価2円

本市の推計人口  
(4月1日現在)  
総数 57,699  
男 28,235  
女 29,464  
世帯数 14,323

## 全市民で歓迎しよう

### 東西 住宅都市の握手 提携式は二十四日か

待望の姉妹都市提携を米國カリフォルニア州モンテペロ市と結ぶ日がせままりました。昨年四月モ市から呼びかけがあつて以後、一年余の月日を要しましたが、本市議会で正式に提携を議決した結果、急に話が進展したものです。モ市代表は五月二十三日本市に到着する予定です。代表らが来芦されましたら、全市民こそ歓迎していただきたいと思います。

米國モンテペロ市と姉妹都市提携を結ぶことについては、三月三十日、市議会の正式議決を得ました。姉妹都市提携準備委員会では、



芦屋川をはさんで広がる本市



整然と住宅が並ぶモンテペロ市街

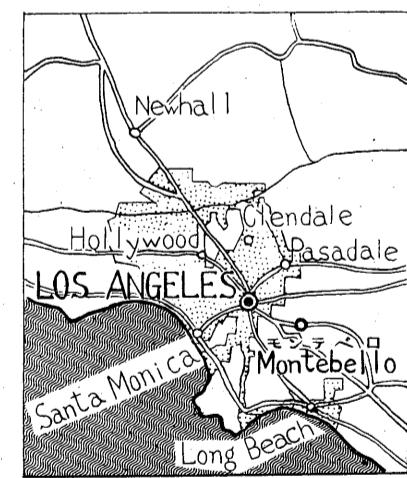
四月四日さつき会合を開いて、本市で行なう提携式にモ市代表を招待するための日程について打ち合せ、モ市側の意向を問ひ合わせ、手紙を送りました。

この通信は、モ市の提携委員長カリーナ・婦人から「五月十三日、芦屋に到着するよう代表を送る」との電報が届きました。委員会で重ねて代表の人数や、滞日予定を問ひ合せ中です。想像される通りでは、五月二十四、五日ごろ締結式を行ない、代表団を交えての座談会、講演会、歓迎パーティ、記念植樹等がその前後五日ほどの間に行なわれることになるでしょう。これらの詳細日程はモ市から回答があ

### 衛星都市 モンテペロ

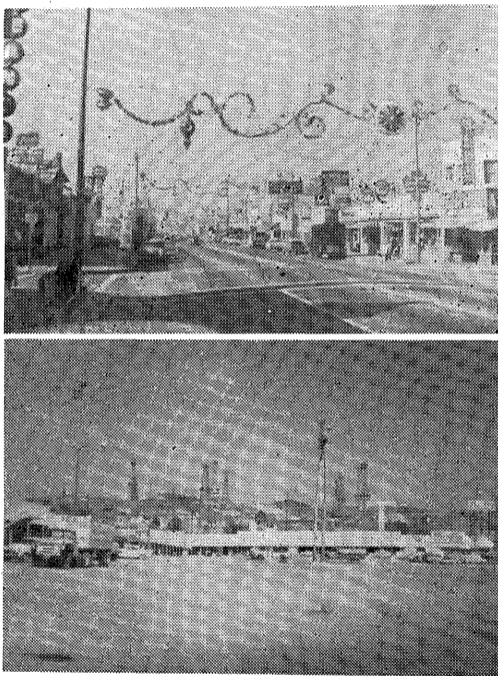
#### 本市に似た住宅地開発進む

モンテペロは、ロスアンゼルス市の東部丘陵地帯にある温和な気候に恵まれた衛星住宅都市です。近代化の都市計画によって整理された並木路の緑は、各戸をかざり、静かな住宅街を形成しています。



モンテペロ市の位置

結式を挙行することになると思われます。



【写真】上はモンテペロ市の商店街フィッター大通りの中心部。下は丘陵部田跡のペバリー大通りに建設中の新しい商店街。

内には、市営のゴルフ場と三つの公園、プールなどがあり、ピクニックに適した土地や、美しい景色のところが多く、レクリエーションの場には、ここかないところで、また、繁華した商店街が、数カ所にあり、いすれも、市民の落ち着いたショッピングセンターとなつていきました。交通も、よく発達しており市内にはバスが縦横に走っています。ロスアンゼルス市中心まで、バスでわずか二十分に到達できる便利な住宅地です。

市の北部によろわる丘陵部を開発して新住宅地を造成する計画がなされている点は、芦屋市とよく似ています。

被保険者は、市民の約八割におよびこの下半期には、月平均三千人が治療を受け、一人平均一、三七七円を治療に要したことになる。治療の内容は、通院94%入院29%、歯科が17%で、国民健康保険利用度はかなり良好です。

競馬・競輪事業  
五市競馬事務組合主催本市担当分として、三十五年十一月と、三十六年二月に開催しましたが、本年度分の利益配分金は、一、七四〇万円が見込まれています。

競輪事業は、本市主催最後の競輪として「社会福祉事業後援特別競輪」を三十六年一月に開催しました。売上合計は一億八、四〇〇万円となりましたが、収益金の五分を「社会福祉事業団」へ寄付しました。収益金は一、五七〇万円を見込んでいますが、競馬事業益金と合わせ庁舎建設など事業費の財源として使用しました。

### 35年度下半期の市財政白書

#### 健全財政に終始 予定した事業はほぼ完成

昭和三十五年度は、市制二十周年を迎えることにも「財政再建計画」の完了に伴ない、飛躍的な発展を基調とした自主的財政運営を図った年度でした。本号ではこの三十五年度下半期(35年10月1日~36年3月)の財政状況について報告します。

九二〇万円など、大幅な財源振替を行ないまして、歳出の増加をまかないました。

特別会計  
市立芦屋病院事業  
最終予算額は、九月末以来の三回の追加更正予算措置の結果、七、四三三万円となりました。管

#### 一般会計

九月末における予算額は、八億九、三二一万円でありましたが、その後三回にわたって四、五八六万円の追加措置をとったため、最終予算額は、九億三、八九七万円となり、前年同期より、九、一六六万円の増額となりました。追加予算の主な内訳は

△人件費四、一三三万円△繰入金金一、一九三万円、公営企業収入



とんぼのしるし

さわやかな緑の風がほほほほと吹く。芦屋川の水は甘いのか、細々ながらまたにはながるが命脈を保ってきた。川原にはほたるの飛びかき姿が見られるでしょう。芦屋川にはほたるのほかにもカワカサやハエ(鱒)などの益虫、益魚が生息し、川の風光に一段と情緒をそそいでいます。それら生物の前途を真剣に心配している市民もおられます。とんぼのしるしはほたるを大きくたたきつけて、ハエに投網を打ちたい。それら生物の前途を真剣に心配している市民もおられます。とんぼのしるしはほたるを大きくたたきつけて、ハエに投網を打ちたい。それら生物の前途を真剣に心配している市民もおられます。とんぼのしるしはほたるを大きくたたきつけて、ハエに投網を打ちたい。

市政の側にある「市民相談室」はあらゆる市政の案内所です。市役所の案内はもちろん、市政の苦情や個人の身の上、心配ごとでも承わり、相談に応じます。市民だれでも利用できる休養室も新設しました。

神戸家庭裁判所調査官による家事相談室は、五月十日市民相談室で、二十四日市立図書館で開かれます。

### ルール守って明るい交通

5月11日から20日まで  
春季交通安全運動

道路を広く人も車もい

本年1月~の事故  
件数 160件  
死者 7人  
死傷者 63人  
物損額 364万円

各会計予算額の推移 (単位万円)

会計別	35年9月末	36年3月末
一般会計	89,311	93,897
特別会計		
市立芦屋病院費	6,784	7,438
国民健康保険費	3,169	3,766
地方競馬事業費	750	2,000
地産物輸小計	21,223	29,087
	31,926	42,291
合計	121,237	136,188





# 児童を大切に

## 次の世代をになう

児童憲章が制定されてから、十年を迎えました。五月一日から、三十一日まで、児童福祉月間です。児童憲章をもう一度読んでみましょう。

児童は、人として尊重される。児童は、社会の一員として重んばれる。

# 子供の世界に希望を



児童は、心身ともに健やかに、家庭で正しい愛情と知識とで養育されるべきである。次世代をなす国民として、そして人類の平和と文化に貢献できるように、常に最大の努力をしよう。

無料散髪 五月五日から十一日まで、被保護、要保護家庭の子供にかかり、市内理髪組合の協力で無料の散髪がうけられます。



# 教育のページ

遠足地で楽しく食事をする岩園小学校の生徒

# 信号旗で連絡

## 遠足の実施・延期

### 岩園小

新しい学年、そして春、春は遠足の季節である。社会見学、自然の鑑賞、学級づくり、社会道徳、公衆道徳など遠足のもつ意義は大きい。本校では、年三回の遠足定例として、今年三回の遠足を計画している。それでも悩まされることとばかりの日、遠足があるのかないのかと迷わされることである。

実施前に中止が決定した場合、最高学年が下校するまでに、そのことを伝える。

当日の朝、中止が決定がはつきりした場合、最も早く出発する学年の出発時刻より三十分前に次のように報知連絡する。

○校庭の掲揚柱に信号旗をあげる

# 初めての団体生活

## 家庭では休養を 宮川幼

○幼児の立場になって理解する 入園後一月がすぎ、幼稚園の生活にもなつて来た。その時の状況を洗い、靴を脱ぎ替えて、物の整理と片付けを済まして、自由あそび……。決められた順序の中で、幼稚園生活は安定してつづいていく。

○戸外で、うんとあそぼせ

五月は動植物にふれることが多

ま。しかし、家庭の環境などが影響してか個人差は大きく、約束を守ることができず、その時の状況で泣くことが多い。幼児期は、一人一人を理解して導いていくことが大切である。

# あこがれの入園

## 顔一ぱいにうれしさを 岩園幼稚園

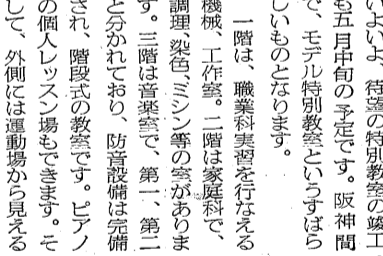


この春卒業した園児達が「新しい友達を迎えるために」と種々な真紅のチューリップの花が咲きはじめた。中を一年保育児三九人、二年保育児六人の新入園児がお母さん方と一緒に、様々の表情の中にもほんとうに純な感じを責任の大きさを思ふ。

希望者が定員をこえたため一月以来も抽選にてもという不安があった。全入園のこの日を迎えた喜びはひとしおである。その間、市議会、市教育委員会の方々の幼児教育に対する深いご理解、いろいろの困難をこえて一学級増、保育室増築にまでお運びいただいたことは心からありがたき思っています。新しく生まれたい組は百組、二期期に迎えた。

# モデル実習教室

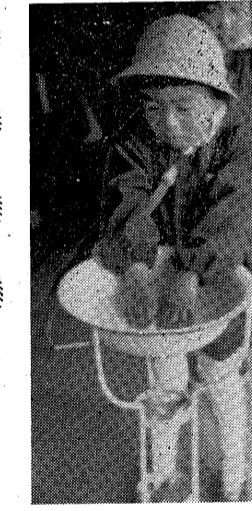
## 完成は五月 精道中学校



いよいよ、待望の特別教員の竣工も五月中旬の予定です。阪神間で、モデル特別教室といふすばらしいものとなります。

一階は、職業科実習を行なえる機械、工作室。二階は家庭科で調理、染色、ミシン等の実習が可能な三階は音楽室で、第一、第二と分かれており、防音設備は完備され、階段式の教室です。ピアノの個人レッスン場もできます。そして、外側には運動場から見える微のようでした。

# 姉妹都市とは



わたしたちの住む芦屋市は、五月末に、アメリカのモンテペロ市(都市提携として)に姉妹都市を結びますが、都市提携とは、どのようなものか、わかりやすくお話ししたいと思います。

それは、外国の街とわたしたちの街とが兄弟のように仲よくしようとするのです。たゞ、小学生の皆さんが、かかれた画をモンテペロ市へ送ると、アメリカのお友だちに見てもらった

ほくらも知っておこう

また、モンテペロからも、同じように色々の画とが作品を送って来たりして交換を繰り返して行きます。おたがいに訪問する機会もあつて、仲よくしたり、おたがいの街が兄弟のように仲よくしようとするのが、都市提携の一つの目的です。ですからこのように、親しくすることを姉妹都市に迎えた。(左写真)

わたしたちの住む芦屋市は、五月末に、アメリカのモンテペロ市(都市提携として)に姉妹都市を結びますが、都市提携とは、どのようなものか、わかりやすくお話ししたいと思います。

それは、外国の街とわたしたちの街とが兄弟のように仲よくしようとするのです。たゞ、小学生の皆さんが、かかれた画をモンテペロ市へ送ると、アメリカのお友だちに見てもらった

ほくらも知っておこう

また、モンテペロからも、同じように色々の画とが作品を送って来たりして交換を繰り返して行きます。おたがいに訪問する機会もあつて、仲よくしたり、おたがいの街が兄弟のように仲よくしようとするのが、都市提携の一つの目的です。ですからこのように、親しくすることを姉妹都市に迎えた。(左写真)

# 生活作文募集

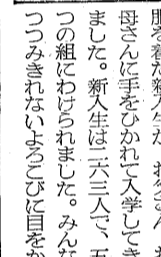
生活作文募集 年少の労働者に働く生活を通しての意見、感想等を発表してもらいたい。使用や、社会一般の関心をかため、みなさんの保護、福祉の向上を目的とする生活文の募集です。

対象 昭和36年4月1日以降に生まれた働いている人。

原稿 二千字以内。氏名、生年月日、現住所、職種、勤務先の名前、所在地、産業の種類を付記。送り先 神戸市中央区二宮町一丁目 兵庫婦人少年室(077077) 締切 昭和36年6月10日 賞 60編に、労働大臣賞、副賞 入賞発表 36年10月に直接通知 なお、原稿は返却しません。

# 包みきれない喜び

## 入学式 宮川小



新しい帽子をかぶり、かわいい服を着た新入生が、お父さん、お母さんに手をひかれて入学してきました。新入生は二六三人、五つの組にわけられました。みんなつつみきれないようびに目をかがやかしています。「お兄さん、お姉さん、わたしたちをおしえてください」と代表が入学のあいさつをする。在校生代表がお祝いの言葉を述べます。校庭の核は満開で、新入生の入学を祝う家

図書館 だより

今月の新着書 OW・B・W ルフ どうし

なら幸福にな

5月の市民文化 映画劇場

5月11日(木)午後7時から 市立公民館ホール (前田町)

赤い帽子 子イーストマンカラー

播磨工業地帯 産業公園淡路 (県政ニューズ優秀作品)

土佐風土記 記録

上映時間 1時間20分 小さなお子さんはご遠慮ください

5月の市民文化 映画劇場

5月11日(木)午後7時から 市立公民館ホール (前田町)

赤い帽子 子イーストマンカラー

播磨工業地帯 産業公園淡路 (県政ニューズ優秀作品)

土佐風土記 記録

上映時間 1時間20分 小さなお子さんはご遠慮ください